

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人 聖母会
横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

社会福祉法人 聖母会

基本理念と基本方針

「愛と真理に基づき最も困っている人々に手を差し伸べる」

援助を必要としている人々すべてに福祉活動を行ってきた創立の精神を保持し、時代の変革の中で社会のニーズに応じてその使命を果たす。

1. 利用者本人を尊重し、個々のあるべき人生の支援に努める。
2. 地域関係機関と連携し、地域福祉の向上に努める。
3. 法人の理念に基づき、質の高い職員を育成する。

理事長 塩塚 俊子

目 次

令和6年度年間大目標の振り返り	1
重点的な取組の振り返り、施設の適正な運営について	3
全事業共通	3
地域包括支援センター事業	7
居宅介護支援事業	12

別 表 目 次

別表1 月間目標と反省（各部署）	13
別表2 防災訓練実施結果	19
別表3 研修参加者一覧	21
別表4 自主事業報告（地域交流・地域包括・生活支援）	25
別表5 地域包括支援センター相談受付件数	31
別表7 介護予防プラン給付管理・新規契約者状況	33
別表8 居宅介護支援事業実績	34
別表9 令和6年度決算書類	35

令和6年度 横浜市深谷俣野地域ケアプラザ振り返り

[地域交流]

子育て支援は、遊び場、居場所、食堂等、各支援者が多くの取り組みを行っており、ケアプラザとしてはその情報発信を行いました。施設内では、保育園やつどいの広場、区役所等と連携して事業を開催することができました。

障がいの分野については、精神障がい者の当事者支援として、居場所の提供やプログラムを実施しました。また、増加しているひきこもりの方の家族や関係者に向けては、座談会の事業を定期的に行いました。

高齢者対象のサロンでは、レクリエーションや地域情報、特殊詐欺の注意喚起等の情報発信を行い、安心して参加できる居場所を定期的に提供することができました。

経済的な理由等で生活が困難な方々を支援するフードドライブや食品配布会の活動団体に事務局として加わり、円滑な活動のために情報提供等を行い、運営を支援することができました。

所内では必要に応じて各職種との意見交換を行い、専門的な観点を反映した企画検討や連携によるスムーズな運営を行うことができました。

[地域包括支援センター]

本人や家族の意向を聞き取り、安心して望む生活が出来るような情報提供や意思決定支援に努めることができました。

多くの問題を抱えた世帯からの相談に対しては、早めの介入や対応をすることで深刻化しないよう心掛けるとともに、幅広い年齢層に関わる様々な制度や支援機関に繋げることができました。

[生活支援体制整備]

地域のイベントや居場所、サークル活動等の訪問を通して、関係者の思いを聞き、活動の様子や困りごと把握し、活動の支援を行いました。会員や担い手の減少を困りごとにあげる団体も多く、関心をもっている方が情報を得ることができるよう、引き続き情報発信の必要性を感じました。また、高齢化が進む中で、移動販売のニーズや様々な機会を活用した地域でのゆるやかな見守りを望む声もあり、地域支援の具体的なヒントを得ることができました。

[居宅介護支援]

利用者や家族が安心した生活を送れるよう、関係機関と連携しながらケアマネジメントを行うことができました。

また、介護報酬改定による制度改正の内容を収集し、適切に業務を実践することができました。

令和6年度 事業報告

重点的な取組の振り返り

- ・地域でニーズの高い「認知症予防レクレーション講座」を7回開催し、会の終了後には、参加者から「会を継続したい」「必要であれば運営にも協力したい」と言う発言があり、今後、ケアプラザが後方支援しながら、自主的な活動を継続することができれば、生きがいや役割につながるのではないかと考えています。
- ・「介護者の集い」と「想いでカフェ」を毎月交互に開催し、参加者同士の交流や情報交換を支援できました。権利擁護については被虐待者や養護者各々に寄り添い、関係機関と連携を取りながら中立的な立場での対応、及び支援ができました。
- ・全戸別訪問では、「地域のつながり」「社会参加」「日常生活」「健康」「消費者被害」「防災」の生活に密着したテーマでアンケート調査を実施しました。今後、アンケート結果を地域住民と共有し、地域の強みの再認識や課題について話し合います。
- ・子育て世帯、高齢者、障害のある方や支援者のつどいの場を定期的に開催し、それぞれの場で必要な対応と多様な主体と協力しながら情報提供をすることができました。
- ・地域やケアプラザでの新たなつどいの場を開設するために、運営の方法や担い手の確保について検討を進めています。

施設の適正な運営について

■公正・中立性の確保について

「ハートページ」「戸塚区内居宅支援事業者ケアプラン対応可能件数一覧表」等を活用し、特定の事業所に偏らないように努めた。

自主事業や貸館の申し込みのルールに沿って、公正・中立に努めた。

■コンプライアンスへの対応について（事故防止、個人情報保護等）

事故防止・個人情報保護について、職場研修を実施し、職場全体で取り組みを行っている。

事故発生時は、具体的な対策をたて再発防止に努めるとともに、職員間で共有を行っている。

全事業共通

■相談・支援

【目標】

地域の身近な相談者として、高齢者、子ども、障害児・者、生活困窮者等の対象を問わず、本人又はその家族等の相談を受けとめるとともに、適切な支援、もしくは関係機関等につなげることができている。

《地域ケアプラザの相談機能の周知》

(具体的な取組内容)

- ・わかりやすい版地域ケアプラザリーフレットの活用や広報紙の紙面等を用い周知を行う。

(振り返り)

- ・小学校訪問や子育て関連事業、食品配布会等の地域支援事業の際にリーフレットを用いた周知を行い、より広く周知を行うことが出来た。

《必要な情報の提供》

(具体的な取組内容)

- ・交流・居場所の周知目的として、「大正地区サロンマップ第2版」を作成する。

(振り返り)

- ・大正サロンマップは、活動団体、地区社協、連合町内会、民生委員児童委員等にご協力をいただき、年度内に完成予定。
- ・高齢者対象の事業では、近隣で起きた特殊詐欺の注意喚起を行った。

■地域アセスメント

【目標】

地域ケアプラザで行う全ての取組を通じて、「地域の情報（基礎情報・社会資源）」と「課題（個別・地域）」を継続的に把握・分析し、地域ケアプラザ内や関係する専門職、地域住民等でそれらの情報を共有することができている。

《地域の基礎情報・社会資源の把握》

(具体的な取組内容)

- ・引き続き、地域訪問等を通して地域情報を把握し、地域の変化やニーズを把握する。

(振り返り)

- ・俣野公園・横浜薬大前から下飯田駅行きのバスが増便されたことで、ケアプラザの貸館利用を希望する団体もあったが利用に至っていない。県DHは最寄りのバス停（集会所前）がルート上にないため、便利さは変わらない。

《地域の情報とニーズの共有》

(具体的な取組内容)

- ・民生委員主任児童委員の協力のもと全戸訪問を実施し、調査結果を自治会と共有する機会を設ける。

(振り返り)

- ・6月～9月にかけて全戸訪問を実施。162戸中、90戸が回答（回答率56%）。年度内に地域ケア会議&協議体を開催予定。

■住民主体の地域づくりの推進体制の構築

【目標】

地域の情報やニーズから地域支援方針及び地域支援計画を決定し、地域住民に地域ケアプラザ、区役所、区社協等の専門職が寄り添いながら、一体となって地域づくりを行う体制が構築されている。

《目指す地域像の一致》

(具体的な取組内容)

- ・全戸訪問調査実施後には、自治会の協力のもと、地域住民が地域を知り、将来像を考える機会をつくる。

(振り返り)

- ・今年度、開催予定の俣野ネオポリス自治会地域ケア会議&協議体では、アンケート結果をもとに、地域住民と地域課題の共有やより安心して住み続けられる地域にしていくためにできることの話し合いを検討している。

■社会資源の開拓・開発・支援

【目標】

地域アセスメント等を通じて把握される「地域課題」に基づき、必要となる社会資源が創出・継続・発展されている。

《既存の取組の支援》

(具体的な取組内容)

- ・単位町内会においてサロンスタッフを中心に認知症サポーター養成講座を開催予定。

(振り返り)

- ・毎月開催しているサロンスタッフの要望により、認知症サポーター養成講座を開催。自治会会長や老人会会長、介護者も参加され、ケアプラザの事業も周知し、今後、地域でのゆるやかな見守りが広がるよう支援していきたい。

《担い手の発掘・育成》

(具体的な取組内容)

- ・地域の福祉活動として、どんな主体によりどんな活動が行われているか、などを周知・発信し、活動に対する理解を深める。

(振り返り)

- ・活動の課題解決の協議検討の際は、同じ活動の活動例や解決策などの情報提供を行った。活動者主体の課題解決を見守り、応援した。少しずつだが、担い手増加につながった。

■ネットワークの構築・支援

【目標】

個別課題や地域課題の解決に向けて、住民、専門職、関係機関を含む多様な関係者（個人、組織及び団体）が、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有することができるネッ

トワークが構築されている。

《地域活動を行う地域住民等のネットワークの構築》

(具体的な取組内容)

- ・地域住民を対象にした全戸訪問調査報告会を開催する。

(振り返り)

- ・全戸訪問調査結果では、回答者の半数以上が「ご近所と積極的に関わっている」と回答しているが、町内での交流や趣味活動の場を望む声も聞かれている。年度内に全戸訪問調査報告会を開催し、交流の場等について話し合いができるよう支援したい。

《地域住民等と専門職等のネットワークの構築》

(具体的な取組内容)

- ・5職種で理事会に参加し、団体と地域課題やニーズの共有、今後の活動について検討する。

(振り返り)

- ・理事会への出席はしていないが、区・区社協を交えての振り返りや次年度に向けての話し合いを行い、また、訪問時に得た情報を5職種で共有している。

■地域ケアプラザの場を生かした支援

【目標】

子どもや高齢者、障害者等、地域に暮らすすべての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせるよう、地域ケアプラザの「場」を生かしながら、地域課題の解決に寄与することができている。

《障害児・者に向けた自主事業の実施》

(具体的な取組内容)

- ・定期的に茶話会を開き、困りごとや様々な工夫などについて共有の場づくりを行う。

(振り返り)

- ・2か月に一度保護者や関係者が集う場を開き、地域や社会情勢、支えあいの仕組みづくり等についての意見交換ができた。

■職員体制・育成

【目標】

1 全事業共通及び2 地域包括支援センター事業の「中長期的に達成すべき目標（最終目標）」の達成に向けて、必要な資質を備えた職員が適切に育成・配置されており、必要に応じて職員間の十分な連携が行われている。

《職員の連携体制の構築》

(具体的な取組内容)

- ・定期的に行う5職種・包括会議では、活動の中で得た地域の情報を共有。それぞれが、現在どの

ような活動をしているかを把握し、関わる地域の団体等への対応方法等を検討、新規事業については協力体制について確認。

(振り返り)

- ・月1回行う5職種会議で、地域情報や事業の進捗状況を共有し、地域や団体と関わる中での対応方法等の協力体制や連携の構築はできている。

■区行政との協働

【目標】

地域ケアプラザと区役所が、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有し、個別課題や地域課題の解決に向けて、効果的な役割分担のもと、協働して取り組むことができている。

《地域福祉保健計画の推進》

(具体的な取組内容)

- ・連携チームで支援方針や役割分担を検討し、各々の団体等と地域福祉計画を推進する。

(振り返り)

- ・第4期地区別計画振り返り、第5期策定については、今後、区が作成したスケジュールを参考に連携チームで役割分担を行い、推進していく。

地域包括支援センター事業

■認知症支援事業

【目標】

認知症の人がその意思を尊重され、できる限り住み慣れたよい環境の中で暮らし続けることができる。

《認知症の人と家族が安心して過ごせる地域づくり》

(具体的な取組内容)

- ・認知症当事者とその介護者の居場所として「想いでカフェ」を開催。「介護者の集い」と交互に開催していく。
- ・関心が高く介護負担軽減につながる簡単料理教室等を開催する。

(振り返り)

- ・隔月で回想法（主に思い出話）を用いた「想いでカフェ」を開催し、毎回当事者が参加している。今年度は簡単な料理やデザート作り教室を開催し参加者同士の親睦を図った。次年度も集いの回数を継続し、当事者にとって安心できる居場所を目指していく。

《認知症予防講座の実施》

(具体的な取組内容)

- ・1回3日の認知症予防講座（3A講座）を開催。講座開催のノウハウを得て、後々参加者がリーダーとなり、会を運営していくことも目的とする。

(振り返り)

- ・12月末現在で7回の講座を行った。「参加を楽しみにしている」「自分が地域で何ができるか考えきっかけになった」という声の他、最終回では、会の継続を望む声や、会の運営に協力しても良いと言う声も上がり、今後、自主化に向けて検討していく。

■権利擁護業務

【目標】

- 高齢者虐待の未然防止や早期発見及び適切な対応を、実現することができている。
- 認知症等により自己の判断のみでは意思決定に支障のある高齢者の権利や財産が守られている。

《高齢者虐待の未然防止及び成年後見制度の利用促進》

(具体的な取組内容)

- ・「エンディングノート」の書き方や成年後見制度の講座を管轄エリア内の自治会、老人会、自主事業参加メンバーに向けて開催する。
- ・専門職による相続や終活を絡めた関心が高いテーマの講座を開催する。

(振り返り)

- ・自主事業や自治会役員会への出張講座を開催した。
成年後見制度については、関心が高い相続や終活に絡め、専門職を講師に理解しやすい講座を開催した。次年度もわかりやすい自主事業や出張講座を開催していく。

《早期発見・適切な対応》

(具体的な取組内容)

- ・行政、民生委員、支援機関等と顔の見える関係性を構築し、虐待防止や認知症患者の増加に伴う権利擁護の早期発見早期対応に努める。
- ・適宜キーパーソンへの認知症や成年後見制度等の資料を用いて周知を行う。

(振り返り)

- ・関係機関からの相談や情報を職種会議や定例カンファレンスで共有し、連携を行った。また、相談者や家族と関わる中で、虐待防止の周知や早期発見に努めた。
研修や事例検討会に継続参加し、臨機応変に対応できるよう努めていく。

《養護者への支援》

(具体的な取組内容)

- ・「介護者の集い」と「想いでカフェ」を交互に開催する。
- ・参加者の関心の高い料理教室等を開催する。
- ・介護を終えた元介護者の孤立を防ぐため、会への参加を呼びかけ、体験談や特技等を披露してもらう。

(振り返り)

- ・「介護者の集い」と「想いでカフェ」を交互に開催した。参加者は男性介護者が多く、参加者同士で情報交換やアドバイスし合う場となった。新規参加者は相談時にチラシ等で案内し事前に参

加を呼びかけた。次年度も継続し、様々な情報を提供していく。

《消費者被害への対応》

(具体的な取組内容)

- ・相談対応時や地域からの情報提供時、独居や高齢者世帯の方には直接リーフレットを配布し注意喚起する。
- ・自治会や老人会等の団体の集まりで消費者被害の最新情報を周知する。また、広報紙やケアプラの掲示板で情報提供していく。

(振り返り)

- ・戸塚警察署、横浜市消費生活総合センター等発信の情報を取得し、チラシや掲示板で注意喚起した。防災や減災についても、イベントや自主事業で周知した。
- 次年度も自治会や民生委員等へ、イベント等の機会を利用しながら、周知していく。

■包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

【目標】

ケアマネジャーと地域をつなぐための支援を行い、ケアマネジャーが、高齢者の生活全体を丸ごと（包括的）、どのような状態になっても切れ目なく（継続的）支えることができるケアマネジメントを実践することができる。

《ケアマネジャーと関係機関とのネットワークの構築》

(具体的な取組内容)

- ・今後も、年1回定期的に連絡会を開催する。各事業所の参加したことがないケアマネジャーに新規参加を呼びかけていく。

(振り返り)

- ・12月末現在で「民生委員とケアマネジャーの連絡会」は開催できていないが、年度内に、警察関係者に依頼し「防犯や詐欺」に関する情報提供を受けた後、民生委員とケアマネジャーで意見交換を行う予定。（実施済み）

《ケアマネジャーに対する地域活動の情報提供等の支援》

(具体的な取組内容)

- ・ドリームハイツの地域活動団体の情報だけでなく、各町内会や自治会で行っている「生活支援」や「サロン」等の情報も提供していく。

(振り返り)

- ・地域情報に関しては、ケアマネジャー個々に、担当者会議等で、「移動販売車」や「お助け隊」等、自治会、町内会の情報提供を行っている。

《ケアマネジャーの質の向上》

(具体的な取組内容)

- ・医療機関の認定看護師による、癌や緩和ケアに関する講座や、疾患別ケアに関するプラン作成、

困難ケースに関する事例検討会等の研修を開催する。

(振り返り)

- ・ケアマネサロンにて開催した医療機関の認定看護師の講座は、参加したケアマネジャーから「新しい知識や情報を得たので、該当する利用者支援へのケアマネジメントに活かしたい」と好評だった為、次年度も医療関係の講座を開催していく。

■在宅医療・介護連携推進事業

【目標】

個別課題や地域課題の解決に向けて、医療機関と介護事業所等（個人、組織及び団体）が、その日常の中で、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有し、一体的な支援・サービスを行うことができるネットワーク・連携体制が構築されている。

《介護関係者に対する相談支援》

(具体的な取組内容)

- ・在宅医療相談室が行う「疾患別医療介護連携事業」の研修やほーめっとが行う「多職種連携研修」についてのケアマネジャーに開催日時や内容等の情報提供や参加を促す。

(振り返り)

- ・区の連絡会で、今年度から年4回、ケアマネ向けに研修会の情報紙の配布を始めた。ケアマネジャーが、受講したい研修会が可視化でき、受講したい研修が選択しやすくなった。

《医療や介護の関係者と連携したケアマネジメントの実践》

(具体的な取組内容)

- ・家族を含めた困難ケース解決に向けて、医療関係者を含めたケースカンファの実施や、ACPに関する研修を開催して、ケアマネジャー支援を行う。

(振り返り)

- ・家族を含めた困難ケースの問題解決に向けては、担当者がケアプラザの協力医から助言を受けられるよう、状況を整えた。

■指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

【目標】

- 「高齢者が要介護状態になることをできるだけ防ぐ（遅らせる）」「要支援状態になってもその悪化をできる限り防ぐ」ために、高齢者自身が地域において自立した日常生活を送ることができるような、ケアマネジメントが実践できている。
- 心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割をもって生活できるよう、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアマネジメントができている。

《適切なアセスメント及び自立支援に資するケアプラン作成》

(具体的な取組内容)

- ・自宅で振り返りが可能なように資料を渡して分かりやすい言葉で説明。

- ・定期的に状況確認を行い必要時は改善していく。

(振り返り)

- ・状況に合わせた資料の提供を行いその都度説明を行っている。担当者からの報告書類や電話連絡で現状を把握して適宜対応している。

《幅広い選択肢からの利用サービスの選択》

(具体的な取組内容)

- ・5職種会議での情報をもとに地域の状況把握や地域の活動へ参加して関係性の構築に努める。
- ・俣野ネオポリス・深谷町の自治会館にて介護予防講座を開催。

(振り返り)

- ・地域の情報収集や関係性の構築は行えている。認知症予防講座をケアプラザで3サイクル実施したため、地域での講座開催が行えなかった。今後は地域での講座開催を再検討していく。

《居宅支援事業所委託の関与・支援》

(具体的な取組内容)

- ・今後も担当者会議へは極力参加していき関係性の構築を行う。
- ・担当者からの問い合わせにはなるべく早く具体的な対応をしていく。

(振り返り)

- ・予防契約や担当者会議には極力参加している。本人や担当ケアマネジャーと情報を共有して対応している。

●利用者実績（延べ人数） 単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
199	196	190	192	191	197
10月	11月	12月	1月	2月	3月
195	196	189	188	187	192

■地域ケア会議

【目標】

- 適切な支援に繋がっていない高齢者に対して、公的サービス、社会資源を活用し、自立に資するケアマネジメントが地域で行われている。
- 具体的な地域課題やニーズを吸い上げ、資源開発や地域づくり、政策形成につなげている。

《個別課題の解決》

(具体的な取組内容)

- ・対応するケースに応じて、医療、介護、障害、生活支援、NPO団体、地域等、多様な主体に参加を依頼する。

(振り返り)

- ・個別ケースでは、高齢、障害、子ども、生活困窮の多問題を抱えているケースについて、多職種やNPO団体等、多様な主体とともに、解決の糸口を検討し、支援体制を共有できた。

《地域課題の発見・地域づくり・資源開発》

(具体的な取組内容)

- ・今年度のエリアの地域ケア会議は、住民のニーズや課題を把握するため、事前に俣野ネオポリスの全戸訪問を行い、住民アンケートを収集。アンケート結果報告を兼ね、地域ケア会議（及び協議体）を開催する。

(振り返り)

- ・12月末現在、エリアの地域ケア会議は、開催されていないが、戸別訪問で得たアンケートの集計結果が出た。年度内の開催に向けて、同行訪問した民生委員と話し合い、自治会の協力を得て開催する計画を検討している。（実施済み）

居宅介護支援事業

【目標に対する取り組み状況】

利用者や家族が安心した生活を送れるよう、関係機関と連携しながらケアマネジメントを行うことができました。

また、介護報酬改定による制度改正の内容を収集し、適切に業務を実践することができました。

●職員体制

居宅介護支援事業所管理者1名（常勤兼務）

主任介護支援専門員1名（常勤専従）

介護支援専門員5名（うち常勤兼務2名、常勤専従3名）

●利用者実績（単位：人）※（ ）内は介護予防プラン・介護予防ケアマネジメント受託件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
140(36)	138(35)	146(35)	148(37)	144(35)	140(34)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
141(34)	140(34)	142(34)	142(31)	142(33)	140(34)

<別表 1> 月間目標と反省

1) 地域交流事業

- 4月の目標・新年度のPDCAシートを作成する。
反省・令和6年度の事業計画（PDCA）の作成を進めた。
- 5月の目標・地域の催し等を訪問し、地域情報を収集する。
・5月の自主事業の準備を行う。
反省・地域訪問の中で、その地域の方々の情報を得ることができた。
・5月の自主事業の準備と周知を行った。
- 6月の目標・事業等が多くなるので、滞りないよう計画的に準備を行っていく。
反省・予定を確認しつつ、予定通り業務を進めることができた。
- 7月の目標・施設利用者が安全に過ごすことができるよう、感染症、熱中症等の注意喚起を行う。
・新規の自主事業の開催に向け打ち合わせ、準備を行う。
反省・施設利用者が安全に過ごすことができるよう、感染症、熱中症等の注意喚起を行った。
・新規の自主事業の開催については、計画通りに進まなかった点もあった。振り返りを行い、次年度以降に活かしていく。
- 8月の目標・下半期事業の計画を立て、準備を進める。
反省・下半期事業の計画を作成し、関係者、団体等との打ち合わせを行った。
- 9月の目標・運営協議会開催の準備と、資料作成を計画的に行う。
・利用者アンケートの配布を開始し、次月中に回収を行う。
反省・運営協議会開催の準備を進めることができた。
・利用者アンケートの配布を行った。利用団体についてはおおむね回収が終了した。
- 10月の目標・ケアプラひろば開催に向けて準備を行う。
・上半期の活動の振り返り、下半期の計画の確認を行う。
反省・ケアプラひろば開催に向けて、打ち合わせ、準備を行った。
・上半期の活動の振り返り、下半期の計画の確認を行った。
- 11月の目標・ケアプラひろばの開催周知を進める。
・12月、2月の子育て事業について、関係機関・団体等と打ち合わせを行う。
反省・ケアプラひろばの告知を広く行った。包括事業との同時開催をした効果もあり、多くの参加者に楽しんでもらうことが出来た。
・12月、2月の子育て事業について、関係機関・団体等と打ち合わせを行っている。
- 12月の目標・令和6年度の事業を振り返り、ケアプラザ事業のPDCAシートを作成する。
反省・令和6年度の事業を振り返り、ケアプラザ事業のPDCAシートで報告した。
- 1月の目標・共催事業の振り返り、次年度に向けての打ち合わせを行う。
・地福計画の振り返りを行い、次期計画策定に向けての前準備を行う。
反省・共催事業の振り返りをし、次年度の計画に向けての打ち合わせを行った。（精神障がいつどいの場合）
・地区の情報シートを作成し、地福計画の振り返りを行った。
- 2月の目標・次期地福計画策定に向け、2月の地区社協執行部会では、原宿CPとともに作成した地域の状況シートを用いてケアプラザとして把握している地域情報を共有する。
・次年度の事業計画作成の準備を進める。
反省・第5期地区別計画策定の準備として、2月の地区社協執行部会では、原宿CPとともに作成した地域の状況シートを用いてケアプラザとして把握している地域情報を共有した。

- ・次年度の事業計画作成の準備を進めた。
- 3月の目標・今年度の事業全体の振り返りを行い、次年度の計画を進める。
- ・次年度の広報紙のスケジュールの作成を行う。
- 反省・今年度の事業全体の振り返りを行い、次年度の事業計画案の作成を進めた。
- ・年度内の広報内容の振り返りを行った。次年度の広報紙掲載内容のスケジュール案を立て、次月の5職種会議で検討する。

2) 地域包括支援センター事業

- 4月の目標・新たな元気づくりステーション立ち上げに積極的に取り組むことで参加者との信頼関係を構築し、新規立ち上げや継続支援等ケアプラザの役割を実践していく。
- ・R6年度自主事業計画について早め着手していく。
- 反省・令和6年度の自主事業計画の概要は概ね作成できており、今後は実行に移していく。
- ・年末に相談のあった多問題を抱える家族について、地域のNPOや行政と共に地域ケア会議を開催し連携を深めることができた。
- 5月の目標・地域からの情報提供も増加しているため、今後心配なケースを共有し迅速に対応していく。
- 反省・増加する地域からの情報提供に対し、民生委員や行政、関係機関と共有しながら迅速に対応することができた。
- 6月の目標・例年に比べて外気温上昇の時期が早まっているため、熱中症や脱水について普及啓発を行っていく。
- 反省・相談対応時や戸別訪問時にリーフレットを用いて熱中症や脱水について普及啓発を行うことができた。
- 7月の目標・ネオポリス自治会の民生委員と協力し、戸別訪問アンケートを滞りなく進めていく。
- 反省・俣野ネオポリスの戸別訪問では、民生委員と協力したことで、予定より早く進み、住民から地域の課題等の貴重な情報を聞き取ることができた。
- 8月の目標・酷暑が続くため、熱中症や脱水予防について、相談、訪問時や自主事業時にパンフレット等を用いて周知し、連絡や情報提供があれば早急に対応していく。
- 反省・熱中症や脱水予防について、相談、訪問時や自主事業時にパンフレット等を用いて周知することができた。
- 9月の目標・自主事業開催に向け、関係機関等と連携を取りながら、滞りなく準備や開催に努める。
- 反省・自主事業開催に向け、関係機関等と連携を取りながら、滞りなく準備や開催に努めることができた。また、民間業者へ講師を依頼するにあたって今後の参考になった。
- 10月の目標・上半期の事業や活動を整理し、運営協議会に向けての準備を整える。
- ・複数の自主事業開催に向け、地域や関係機関向けに周知を行う。
- 反省・運営協議会に向け早めの準備ができ、新たに参加した運営委員にもわかりやすく事業を案内することができた。
- ・複数の自主事業の周知を行い、エリア外の地域からも複数の申し込みがあった
- 11月の目標・「ケアプラひろば」では関係機関と密に連携を取り、滞りなく事業を行う。
- 反省・「ケアプラひろば」では関係機関と密に連携を取り、滞りなく事業を行ない、防災に関する必要な情報を提供し、参加者に喜んでもらった。
- ・出張講座や会議で相談窓口が不在になる状況であったが、他部署の業務を確認し優先順位を付け回避することができた。
- 12月の目標・役所への提出物や次年度の予定等計画的に作成していく。
- ・年末年始の休館日に向け、予め心配なケースを訪問や連絡しておくことで状況を確認しておく。
- 反省・役所への提出物や次年度の予定等計画的に作成し、期日までに提出することができた。

- ・ 年末年始の休館日に向け、心配なケースをピックアップし、訪問や連絡しているが、間に合わないケース等は年始に状況を確認する。
 - 1月の目標・地域に年始挨拶に行き、年末年始の地域の様子や今年の活動についての情報交換を行う。
 - 反省・地域に年始挨拶に行き、年末年始の地域の様子や今年の活動についての情報交換を行った。年末年始に管轄地域（深谷団地、東山）にて独居の方が逝去していたケースがあり、今後事業所や民生委員と地域での見守りの必要性や対応方法について検討していく。
 - 2月の目標・運営協議会に向け、事業内容を整理し早めに準備を進めていく。
 - ・ 元気作りステーションの発足を目指し、年度内3回目のスリーA講座と介護予防講座を安全に滞りなく実施していく。
 - 反省・運営協議会に向け、事業内容を整理し準備を進めていくことができた。直前の事業についても資料に入れることができた。
 - ・ 元気作りステーションの発足を目指し、年度内3回目のスリーA講座と介護予防講座を安全に滞りなく実施し、担い手候補も選定できた。
 - 3月の目標・次年度に向け自主事業計画は早めに着手し、情報収集などの準備も滞りなく進めていく。年度末や年後初めの自主事業が滞りなく円滑に実施できるよう準備を進める。
 - 反省・次年度に向け自主事業計画は早めに着手し、情報収集などの準備を継続的に進めていくことができた。
- ### 3) 生活支援体制整備事業
- 4月の目標・新年度を迎えるため、地域関係者の把握や年間予定、地域活動状況について情報を収集する。
 - 反省・新年度の挨拶訪問や地域活動に訪問し、今年度の予定等を5職種と共有した。
 - 5月の目標・今年度、計画をしている戸別訪問調査の準備を進める。
 - 反省・戸別訪問調査実施に向けて、地域関係者と5職種で打合せを実施し、様々な情報交換や地域課題を把握することができた。
 - 6月の目標・地域のサロンや活動団体に訪問する際は、かくれ脱水や熱中症の注意喚起を行う。
 - ・ 戸別訪問調査の準備を進めていく。
 - 反省・熱中症予防等の注意喚起を行った。
 - ・ 戸別訪問調査については、開始時期は変更になったがスタートすることができた。
 - 7月の目標・引き続き地域へ訪問した際は、熱中症予防や食中毒予防についての注意喚起を行う。
 - ・ 6月より開始した戸別訪問調査を進めていく。
 - 反省・サロン訪問時は、熱中症予防の注意喚起を行い、またスタッフとプログラムの内容や室温管理等について話し合った。
 - ・ 全戸訪問では、熱中症予防対策の周知や体調不良の方へ救急相談センター等の案内をした。
 - 8月の目標・訪問先のサロン等で、熱中症・脱水予防の注意喚起を行う。
 - ・ 全戸訪問調査の集計を進める。
 - 反省・訪問先のサロンでは、熱中症・脱水予防対策について声かけを行った。
 - ・ 全戸訪問調査については、アンケートの集計をスタートした。今後、集計結果や地域住民の声を自治会等と共有していきたい。
 - 9月の目標・地域で行われる活動に訪問し、活動状況や関係者等について把握する。
 - 反省・地域活動情報の更新や新規登録を行った。
 - ・ 地域の夏祭りに訪問し、参加者から地域情報を聞くことができた。
 - 10月の目標・運営協議会に向けて、上半期の振り返りと下半期の計画の確認を行う。
 - ・ 地域のイベントが多い時期のため、訪問を行い、関係構築を行う。
 - 反省・地域で行われているイベントに参加し、地域情報を収集することができた。
 - ・ 下半期の事業に向けて再確認を行った。

- 1 1月の目標・ケアプラひろばに向けて準備を進める。
 - ・地域団体等の活動情報の更新を行う。
 - 反省・ケアプラひろばでは、地域活動を行っている団体やボランティア、企業、消防所等の協力により情報発信や交流、ケアプラザの周知を行うことができた。
 - ・地域団体の活動情報の更新件数は少ないが行った。継続していく。
- 1 2月の目標・令和6年度事業計画の確認と次年度計画を作成する。
 - 反省・年度内の事業計画の確認を行った。次年度計画については引き続き進める。
- 1月の目標・新年の挨拶や訪問を通して、地域の情報収集を行う。
 - ・全戸訪問調査結果報告に向けて準備を進める。
 - 反省・地域に訪問し、年末年始の地域活動や生活の様子を把握することができた。
 - ・民生委員主任児童委員に全戸訪問調査報告（協議体）を行い、地域課題の抽出や結果の活用について話し合いを行った。
- 2月の目標・大正地区社会福祉協議会主催の福祉まつり出展に向けて準備を進める。
 - ・新たなつどいの立ち上げに向けて、準備を進める。
 - 反省・大正地区社協主催の大正福祉まつりでは、ハートプランのアンケートを実施することで地区別計画の周知や住民の関心ごとを把握することができた。
 - ・新たなつどいの立ち上げについては、地域住民から既存の活動団体で感じる気になることや課題について意見交換ができた。引き続き検討をしていく。
- 3月の目標・全戸訪問アンケート調査に関する協議体の準備を進める。
 - ・次年度に向けてスケジュールの確認や書類等の整備を行う。
 - 反省・協議体開催に向けて連絡や資料の準備等を滞りなく行った。
 - ・書類の整備等は、確認をしながら進めた。
- 4) 居宅介護支援事業
- 4月の目標・新年度の介護保険改正に伴う移行作業をスムーズに行う。
 - ・介護支援専門員実習の受け入れを行う。
 - 反省・新年度の介護保険改正に伴う移行作業をスムーズに行うための情報収集をした。
 - ・介護支援専門員実習の受け入れを行うための準備を行っている。
- 5月の目標・新年度の介護保険改正に伴う各事業所からの報告確認を行う。
 - ・介護支援専門員実習の受け入れを行い、実りのある実習になるように努める。
 - 反省・新年度の介護保険改正に伴い、各事業所からの報告確認を行った。
 - ・介護支援専門員実習の受け入れについては、各ケアマネジャーと同行訪問する等して実りのある実習になるように努めた。
- 6月の目標・高温多湿な時期となるため、食中毒や熱中症についての注意喚起を行う。
 - 反省・高温多湿な時期となり、食中毒や熱中症についての注意喚起を行った。
- 7月の目標・8月からの介護保険負担割合証が交付時期となるため訪問時確認を行い、請求業務が滞りなく行えるようにする。
 - ・高温多湿な時期のため、引き続き食中毒や熱中症についての注意喚起を行う。
 - 反省・介護保険負担割合証が届き始めたので確認している。
 - ・訪問時、食中毒や熱中症の注意喚起を行った。
- 8月の目標・介護保険負担割合証の確認を引き続き行う。
 - ・新型コロナウイルス感染症等が流行っているため、訪問時には注意喚起を行う。
 - 反省・介護保険負担割合証の確認を行った。
 - ・新型コロナウイルス感染症などが流行っているため、訪問時は注意喚起を行った。
- 9月の目標・アンケートを実施し利用者の満足度を確認する。
 - 反省・アンケートを実施し、利用者の満足度を確認中のため継続する。
- 1 10月の目標・アンケートの集計を行い、いただいた意見に関して振り返りを行う。
 - 反省・アンケートの集計を行い、いただいた意見に関して振り返りを行った。
- 1 11月の目標・年末年始に休みになる事業所が多い為、利用者が困らないために調整を行う。
 - 反省・年末年始に休みになる事業所が多い為、利用者が困らないように調整を行った。
- 1 12月の目標・モニタリング時にインフルエンザ、コロナなどの感染症予防のため手洗い、水分補給を行っていただくように声掛けを行う。

- ・利用者が安心して年末年始を過ごせるように調整を継続して行う。
- 反省・モニタリング時にインフルエンザ、コロナなどの感染症予防のため手洗い、水分補給を行っている。
- ・利用者が安心して年末年始を過ごせるように調整を継続して行っている。
- 1月の目標・引き続きモニタリング時にインフルエンザ、コロナなどの感染症予防のための手洗い及び水分補給の声掛けを行う。
- 反省・引き続きモニタリング時にインフルエンザ、コロナなどの感染症予防のための手洗い及び水分補給の声掛けを行った。
- 2月の目標・今年度の振り返りと次年度に向けての準備を進めていく。
- 反省・今年度の振り返りと次年度に向けての準備を進めている。
- 3月の目標・介護支援専門員実習受け入れ準備と実施を滞りなく行う。
- 反省・介護支援専門員実習受け入れ準備を行っており、スケジュール確認済み。実施はこれからなので滞りなく行う。

＜別表2＞防災訓練実施結果

日時	場所	参加者	内容
令和6年 8月21日(水) 16:00～ 16:30	施設2F 駐車場	ケアプラザ職員 8名参加	火災を想定し、消火器の機能や使用方法、注意点等の解説、質疑応答、職員による水消火器使用訓練を実施。
令和7年 2月19日(水) 16:00～ 17:00	施設1F～4F	ケアプラザ職員 9名参加	地震発生からの火災を想定し、通報や利用者の避難誘導、点呼、職員の役割分担の確認等の訓練を実施。 館内放送の手順確認。 防火シャッターや防火扉の動作確認。

<別表3>研修参加者一覧

<別表3>研修参加者一覧

	研修日	研修会名	研修内容	主催者	参加人数
1	R6. 4. 9	2024年介護報酬改定	今後の介護保険を取り巻く状況、基本報酬の見直し	ひとはな居宅介護支援事業所	1人
2	R6. 4. 22	許可又は登録を要しない運送に関するガイドライン学習会Zoom研修	許可・登録不要の運送について、持続可能な地域社会をつくるために許可・登録不要の新ガイドライン（通達改正）のポイント	認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク	1人
3	R6. 5. 20	ケアマネット戸塚第208回	令和6年5月時点での介護保険制度改正、適正なケアプラン作成等	ケアマネット戸塚	1人
4	R6. 5. 25	第19回通常総会記念学習会	地域交通をめぐる最新情勢	認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク	1人
5	R6. 5. 31	ほーめっと第67回定例会	困った家族～患者家族の対応等	戸塚区在宅療養連絡会	1人
6	R6. 6. 7	第5期横浜市地域福祉保健計画	地域福祉保健計画を通じてだれもが尊重される地域社会へ、第5期横浜市地域福祉保健計画の概要等	横浜市健康福祉局福祉保健課	1人
7	R6. 6. 8	第22回研究発表会	「歯を抜く歯医者の良い歯医者」「障害があっても人として生きる」「横浜市特別養護老人ホーム入退所指針の変更について」	介護リハビリ研究会	1人
8	R6. 6. 13	パーソナリティ障害の理解と接し方	パーソナリティ障害とは、パーソナリティ障害のタイプと特徴、接し方のコツ等	横浜市社会福祉協議会	1人
9	R6. 6. 26	横浜市介護事業者向けハラスメント相談センター説明会	カスタマーハラスメント対応について	横浜市健康福祉局	1人
10	R6. 6. 28	ほーめっと第71回定例会	虐待について考えよう等	戸塚区在宅療養連絡会	2人
11	R6. 7. 16	ケアマネット戸塚第208回	ICFの考え方を取り入れたアセスメント手法、演習（個人・グループ）	ケアマネット戸塚	2人
12	R6. 7. 25	第一回事例検討会ヤングケアラー支援研修	ヤングケアラーについての概要、ヤングケアラーの実態・課題等	戸塚区医師会	1人
13	R6. 7. 26	ほーめっと第72回定例会	診療報酬を知って連携に繋げよう～医科・歯科・薬科・在宅～ 2024年診療報酬改定について等	戸塚区在宅療養連絡会	1人
14	R6. 7. 26	権利擁護支援・地域連携ネットワークの実践	地域共生社会における権利擁護支援、チーム支援、地域連携ネットワークづくり等	横浜市健康福祉局	1人
15	R6. 7. 26	公共建築物の保全に関する研修	省エネルギー化の推進（ESCO事業）、長寿命化工事、建築基準法第12条点検、公共建築物劣化調査、消防用設備等の点検報告制度等	横浜市建築局	1人
16	R6. 7. 26	甲種防火管理者再講習	防火管理者の責務、統括防火管理者制度、自衛消防訓練の必要性和実施方法	横浜市消防局	1人
17	R6. 7. 29	生涯学習支援研修ファシリテーショングラフィック入門	ファシリテーションにおいて、なぜ「書く」ことが大切なのか、議論を見える化する技術『ファシリテーション・グラフィック』を学ぶ等	横浜市教育委員会	1人
18	R6. 8. 2	障害福祉に関する制度・サービス入門～当事者の暮らしを支える仕組みを学ぶ～	障害者に関する制度・サービスの基礎知識、当事者の暮らしとその支援の在り方等	横浜市社会福祉協議会	1人

<別表3>研修参加者一覧

19	R6. 8. 8	個別避難計画の重要性と災害リスクの把握 オンライン研修	災害時に命をまもるために、そもそも個別避難計画とは、横浜市特有の災害リスク等	横浜市健康福祉局	1人
20	R6. 8. 27	生活支援の現場から知る 大人の発達障害	発達障害の特性、発達障害のある大人への支援と特性に配慮した関わり方、サポートホーム事業の事例から考える生活支援等	横浜市社会福祉協議会	1人
21	R6. 8. 28	ほーめっと 「食べる」を支える 誤嚥性肺炎を防ぐために	嚥下の基本、口腔内の動き、ベッド上での食事 介助ポジショニングアドバイス等	戸塚区在宅療養連絡会	2人
22	R6. 8. 30	ALSでも社会参加できる ～私の在宅療養の工夫と実践	筋萎縮性側索硬化症の療養を支える社会制度、 進行への医療的対処、リハビリテーションの取り組みと効果、快適な生活を送るための対処等	神奈川県医師会	1人
23	R6. 9. 4	ケアマネット戸塚 第210回	行政サービス、介護保険以外のサービス、ケア マネジャーのシャドーワーク等	ケアマネット戸塚	2人
24	R6. 9. 4	社会的孤立や権利、擁護、 介護者支援等の新たな対応 に向けたケアマネジメント	地域ケアプラザという器の中で地域包括支援セ ンターをマネジメントの視点から捉え直す等	横浜市健康福祉局	1人
25	R6. 9. 30	医療連携研修会	居宅介護で役立つ医療制度とエッセンス	戸塚区医師会	1人
26	R6. 10. 1	横浜市介護事業者向けハラ スメント対策研修 動画配信研修	カスタマーハラスメントとは、ハラスメント対 策を講じることが必須等	横浜市健康福祉局	1人
27	R6. 10. 7	日本カトリック高齢者施設 協会全国 「想いがある場所であり続 ける」	人生の最期まで穏やかに過ごせるために（1日 目）、カトリック施設のアイデンティティー （2日目）	日本カトリック高齢 者施設協会	2人
28	R6. 10. 10	障がい者と制度の理解	障がい者総合支援法と介護保険法における上乗 せや横出し、NGルールや知っておいて欲しい 障がいの制度について等	原宿地域ケアプラザ	1人
29	R6. 10. 17	地域ケアプラザ所長研修 「ハラスメント防止研修」	管理職の役割とハラスメントのリスク、多様化 するハラスメント等	横浜市健康福祉局	1人
30	R6. 10. 22	支援者間のアサーティブト レーニング ～より良いチームアプロ ーチのために～	コミュニケーションの難しさの背景、アサー ティブコミュニケーションとは等	戸塚区役所	1人
31	R6. 10. 24	ほーめっと 第75回定例会「横浜市、 戸塚区の救急の現状～救急 担当者と語ろう～」	出場件数の増加、現場到着時間の延伸等	戸塚区在宅療養連絡会	1人
32	R6. 10. 28	ケアマネット戸塚 第211回	認知症高齢者への対応	ケアマネット戸塚	2人
33	R6. 10. 31	横浜市疾患別医療・介護連 携事業 糖尿病について知って欲し いこと	30分でききほぐす糖尿病、糖尿病と歯周病等	戸塚区在宅療養連絡会	1人
34	R6. 11. 12	「これからの生活支援体制 整備事業」	生活支援体制整備事業の概要・生活支援Coの役 割、厚生労働省実態報告、介護保険法見直し、 地域支援事業実施要綱・総合事業ガイドライン の改正等	横浜市健康福祉局	1人
35	R6. 11. 19	雇用管理責任者講習専門 コース1回目 「人事管理関係テーマ」	目標管理の方法と運用上の留意点、非正規社員 の人事管理上の留意点、トラブル回避のための 人事管理	厚生労働省委託事業 受託企業(株)タス クールPlus	1人

研修参加者一覧

20	ケアマネット戸塚 第212回	適切なケアマネジメント手法について	ケアマネット戸塚	1人
29	地域交流研究会研修 コーディネーター学校とつ なごろう	スクールソーシャルワーカーの役割、スクール ソーシャルワーカーとケアプラザ等	横浜市社会福祉協議 会	1人
9	戸塚区・泉区合同認定調査 員現任研修	認定調査の定義と調査票の書き方、審査会の流 れとポイント等	横浜市健康福祉局	1人
10	雇用管理責任者講習専門 コース2回目 「賃金管理関係テーマ」	介護分野における賃金の状況、就労形態別の賃 金管理、非正規社員の賃金管理上の留意点等	厚生労働省委託事業 受託企業(株)タス クールPlus	1人
12	地域包括ケア推進のための 地区概況シート 活用講座 活用編	地区概況シートの活かし方、地区概況シートの 項目の定義、地区概況シートから仮設を立てて みる等	横浜市健康福祉局	1人
13	第2回「業務継続計画 (BCP)のシュミレー ション研修」	防災・災害対応マニュアルとBCPの位置付 け、机上訓練でBCPをシュミレーション、状 況付与カードを用いたワークショップ等	横浜市社会福祉協議 会	2人
17	介護予防支援・介護予防ケ アマネジメント業務従事者 研修	その人らしい予防プランづくりのコツ、地域包 括ケアシステムに関する横浜市の基本的な考え 方等	戸塚区役所高齢障害 支援課	2人
10	横浜市いわゆる「ごみ屋 敷」対策に関する関係機関 職員向け研修・多頭飼育問 題研修	横浜市いわゆる「ごみ屋敷」対策条例につい て、多頭飼育問題等	横浜市健康福祉局	1人
20	ケアマネット戸塚 第213回	横浜市ケアプラン点検について等	ケアマネット戸塚	1人
20	こどもまんなか社会に向け て ～地域ケアプラザに求めら れるもの～	不登校児童生徒支援について、ケアプラザがで きる支援について等	横浜市社会福祉協議 会	1人
24	雇用管理責任者講習総合 コース①	雇用管理の重要性、早期離職する理由、雇用管 理トラブル等	厚生労働省委託事業 受託企業(株)タス クールPlus	1人
24	雇用管理責任者講習総合 コース②	賃金管理、人事評価制度、事故・トラブル時の 体制づくり等	厚生労働省委託事業 受託企業(株)タス クールPlus	1人
3	介護事業者のための業務継 続計画策定後の研修及び訓 練に関するオンデマンドセ ミナー	BCPに関する基礎知識、策定後の研修等	厚生労働省委託事業	2人
3	ケアマネット戸塚 第214回	ハラスメントについて等	ケアマネット戸塚	2人
6	生産性向上セミナー ～明日からできる業務改善 ～	業務改善が必要な背景、今年度義務化された 「生産性向上委員会の設置」について等	神奈川県	1人
9	第三回生活支援体制整備事 業研修	ソーシャルワークとは？、孤立して自ら支援を 求めてこない場合等	横浜市健康福祉局	1人
21	ほーめっと 第76回定例会	心不全とは、心不全患者のケア等	戸塚区在宅療養連絡 会	1人
28	介護サービス事業者ハラス メント対策研修	カスタマーハラスメント、パワーハラスメント とは等	神奈川県	1人
-	ほーめっと	病診連携について、各訪問診療医の自己紹介、	戸塚区在宅療養連絡	

令和6年度 自主事業計画書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ (地域交流)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなの広場 ぽかぽか	<目 的> 子育て世帯の居場所づくり、未就園親子の支援・居場所の提供、 多世代交流の促進、地域情報の周知 <内 容> ケアプラザ内での遊び場の提供 保育士や先輩ママとの情報交換、子育てについての助言の場の提供	11回
大正地区 子育て連絡会	<目 的> 地域の子育て支援に関わる拠点や団体、高齢者支援団体、施設間の情報交換や連携の促進、課題抽出・協議検討 <内 容> 各団体のイベント情報の共有、公園遊びのサポート、多世代交流、地区の子育て世代の課題の抽出	3回
障害を正しく 理解するための 学習会	<目 的> 障がい理解・普及啓発、地域住民や保護者の学習 <内 容> 各支援団体の代表等の講話、相談等 ※グループちえのわ、原宿CP共催	1回
うたのひろば	<目 的> 地域の高齢者のつどいの場提供、ボランティア活動の支援、情報提供 <内 容> ギター演奏と歌唱、脳トレリクリエーション、ケアプラザの機能周知、情報提供	11回
地域版 1歳児講座	<目 的> ・養育者が子の成長に合わせたかかわり方を知る。この成長を促すことが出来る。 ・養育者が子育てやこどもとの関係を肯定的にとらえる。 <内 容> 保育士手作りのおもちゃで自由あそび、布などを使ったふれあい遊び、養育者のグループトーク	1回
あったまり場	<目的> こころの病のある方やひきこもりがちな方のためのフリースペース <内容> フリートーク、傾聴、プログラム（パステル画）	10回
よこはまシニア ボランティア 登録研修会 ※生活共催	<目的> 高齢者の健康維持と介護予防、社会参加・地域貢献を通じた「生きがいづくり」の促進 <内容> 事業概要説明、ボランティア活動の留意点	1回
よこはまシニア ボランティア受 入れ施設連絡会 ※生活共催	<目的> 地区の高齢者施設等でのボランティア活動の拡充 <内容> ボランティアの受け入れ状況等、各施設の情報共有、ボランティアとのマッチング	1回

令和6年度 自主事業計画書
横浜市深谷俣野地域ケアプラザ (地域交流)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
たいしょう食堂	<目的> 会食を通じた地域住民同士や家族内の交流促進 <内容> 企画・運営・食事の提供	4回
フードドライブ たいしょう	<目的> 地区在住の生活困窮者への支援活動(大正食品配布会と連携) <内容> 常時開設 地域からの寄付物品の回収、保管、運搬	常時
大正食品配布会	<目的> 地区在住の生活困窮者への支援活動 (フードドライブたいしょうと連携) <内容> 企画・運営 フードドライブたいしょうや、寄付物品等の保管管理と配布	4回
ぽぽら一步	<目的> 不登校・ひきこもりの保護者等の支援 <内容> 不登校・ひきこもりの保護者等の座談会	8回
薬草園見学 ※生活共催	<目的> 地域の社会資源を知る、親しむ、参加者の交流促進、ケアプラザの機能周知 <内容> 横浜薬科大学の薬草園見学等 ※生活共催事業	2回
ケアプラひろば ※包括・生活共催	<目的> ケアプラザの機能周知、地域の事業所の周知と連携促進、地域住民の交流、地区の福祉計画の推進 <内容> 事業所の製品の販売、ハートプランの周知活動	1回
つどいの場 ミーティング ※生活共催	<目的> 居場所づくりのための、地域ニーズの把握、ボランティアの誘致 <内容> 地域の現状や必要とされる居場所のイメージの共有	2回
子どもについての研修	<目的> 児童虐待について、相談機関や権利擁護について学び、地域でできることを考える <内容> 子どもの権利、児童虐待、虐待を疑ったら、地域でできること	1回
音楽交流広場	<目的> 音楽を身近な場所で気軽に楽しむ <内容> 打楽器演奏グループによるミニコンサート、楽器体験	1回

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ（地域包括支援センター）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
エンディングノート書き方講座	<目 的> ・エンディングノートやもしも手帳の普及啓発 <内 容> ・介護保険サービス、ケアプラザの概要を周知	1 回
成年後見制度・相続・終活について	<目 的> ・成年後見制度の普及啓発 <内 容> ・相続や終活についての知識習得及び個別相談	1 回
介護者のつどい	<目 的> ・介護者同士の情報交換や集いの場を提供 ・認知症、成年後見制度、介護保険サービス、ケアプラザの概要を周知 <内 容> ・介護者の不安や疑問、課題に対する専門職からのアドバイス	6 回
想いでカフェ	<目 的> ・認知症当事者と家族との居場所作り <内 容> ・当事者と介護者の外出、及び交流支援 ・不安や疑問、課題に対する専門職からのアドバイス	6 回
ケアマネサロン	<目 的> ・ケアマネジャーとして、医療や災害対応への知識を深め、ケアマネジメントに活用する。 <内 容> ・「緩和ケア」「心不全」「防災」「事例検討会」等の研修会を開催。	3 回
民生委員とケアマネジャーの連絡会	<目 的> ・民生委員とケアマネジャーが、お互いの活動内容を知り、連携を構築していく。 <内 容> ・事例検討会で課題を抽出し、それぞれの立場で対応できることや連携して解決していくことを見出していく。	1 回
3 A (スリーA) 講座	<目 的> 認知症予防をテーマに、住民が楽しんで気軽に参加できる講座を開催。後に、元気作りステーションや自主活動に繋げていく。 <内 容> 「明るく・頭を使って・諦めない」をテーマにレクリエーションを行う。	9 回

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ（地域包括支援センター）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域ケア会議 (個別／エリア)	〈テーマ〉 個別①「本人がどのようにしたら、困りごとを自ら発信できるのか」	個別：1回 エリア：0回
深谷元気会	〈目 的〉 介護予防を意識し、張り合いのある生活を送るために、講師指導の下楽しく身体を動かす。 〈内 容〉 ストレッチ・ボール・セラバンドを使用した体操を個々の状況に合わせて行った。	年23回

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ（生活支援）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症 サポーター 養成講座 ※包括共催	<目的> ・正しい認知症に関する知識を持ち、地域や職場で認知症の人と家族を温かく見守り、支援する応援者（認知症サポーター）の養成を推進。 <内容> ・町内で実施しているサロンスタッフ向けに認知症キャラバンメイトによる養成講座を開催。	1回

- ・「民生委員」、「みまもりネット協力事業者」からの相談ケースが増加している。
- ・年末年始には「民生委員」、「みまもりネット協力事業者」からの安否確認で訪問し、転倒し身動きが取れなくなっているケースや亡くなっているケースを発見した。
- ・「要支援」認定者が増加し、ケアマネ調整が困難なケースが増えている。
- ・対象地域の集合住宅の高齢率が5割を超えており、相談件数も増加している。

相談内容は ①介護保険 ②日常生活課題の順で多く、「転院」や「施設入所」が増加傾向。

※相談内容

※援助内容

<別表7>

令和6年度 介護予防プラン給付管理・新規契約者状況

【単位：人】

《給付管理合計者数》					
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
要支援1	242	250	231	237	960
要支援2	331	324	333	323	1,311
合計	573	574	564	560	2,271
昨年度合計 (比較データ)	514	557	600	601	2,272

【単位：人】

《新規契約合計者数》					
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
要支援1	8	13	7	7	35
要支援2	4	10	6	9	29
合計	12	23	13	16	64
昨年度合計 (比較データ)	25	27	26	23	101

令和 6 年度 居宅介護支援事業実績

《 給付管理実績 》 () 内は予防プラン数

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
1 4 0 (3 6)	1 3 8 (3 5)	1 4 6 (3 5)	1 4 8 (3 7)	1 4 4 (3 5)	1 4 0 (3 4)
1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
1 4 1 (3 4)	1 4 0 (3 4)	1 4 2 (3 4)	1 4 2 (3 1)	1 4 2 (3 3)	1 4 0 (3 4)

《 介護認定調査業務 》 () 内は区外

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
4	5	1 4	1 1	7	9
1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
1 1	7	1 4	9	9	1 5

合計 1 1 5 人

深谷俣野地域ケアプラザ拠点区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	41,940,000	42,634,585	△ 694,585	
	居宅介護支援介護料収入	36,709,000	37,375,339	△ 666,339	
	居宅介護支援介護料収入	29,317,000	29,976,017	△ 659,017	
	介護予防支援介護料収入	7,392,000	7,399,322	△ 7,322	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	4,425,000	4,368,346	56,654	
	事業費収入	4,425,000	4,368,346	56,654	
	その他の事業収入	806,000	890,900	△ 84,900	
	補助金事業収入(公費)	100,000	140,000	△ 40,000	
	受託事業収入(公費)	524,000	569,250	△ 45,250	
	拠点区分間受託収入	182,000	181,650	350	
	地域包括支援センター収入	53,001,000	53,003,447	△ 2,447	
	地域包括支援センター収入	52,902,000	52,903,897	△ 1,897	
	地域包括支援センター収入	52,902,000	52,903,897	△ 1,897	
	その他の事業収入	99,000	99,550	△ 550	
	受託事業収入	99,000	99,550	△ 550	
	経常経費寄付金収入	10,000	10,000	0	
	寄附金収入	10,000	10,000	0	
	受取利息配当金収入	14,000	14,702	△ 702	
	その他の収入	17,000	18,280	△ 1,280	
	受入研修費収入	4,000	4,000	0	
	雑収入	13,000	14,280	△ 1,280	
	その他雑収入	13,000	14,280	△ 1,280	
	事業活動収入計(1)	94,982,000	95,681,014	△ 699,014	
	支出				
	人件費支出	60,693,000	60,510,325	182,675	
	職員給料支出	33,435,000	33,382,414	52,586	
	職員賞与支出	9,390,000	9,388,200	1,800	
	非常勤職員給与支出	8,532,000	8,413,325	118,675	
	退職給付支出	1,439,000	1,437,344	1,656	
	法定福利費支出	7,897,000	7,889,042	7,958	
	事業費支出	2,212,000	2,081,984	130,016	
	水道光熱費支出	1,331,000	1,246,689	84,311	
	保険料支出	94,000	92,978	1,022	
	賃借料支出	412,000	400,555	11,445	
	車両費支出	20,000	12,419	7,581	
	雑支出	355,000	329,343	25,657	
	事務費支出	20,142,000	19,821,461	320,539	
	福利厚生費支出	235,000	231,083	3,917	
	旅費交通費支出	83,000	59,210	23,790	
	研修研究費支出	116,000	98,340	17,660	
	事務消耗品費支出	462,000	421,382	40,618	
	印刷製本費支出	355,000	366,709	△ 11,709	
	修繕費支出	594,000	592,546	1,454	
	通信運搬費支出	1,015,000	982,144	32,856	
	広報費支出	298,000	293,733	4,267	
	業務委託費支出	11,401,000	11,172,650	228,350	
	業務委託費支出	8,684,000	8,428,790	255,210	
	事業区分間業務委託費支出	2,717,000	2,743,860	△ 26,860	
	手数料支出	295,000	286,428	8,572	
	土地・建物賃借料支出	485,000	484,800	200	
	土地・建物賃借料支出	485,000	484,800	200	
	租税公課支出	1,599,000	1,666,694	△ 67,694	
	保守料支出	2,061,000	2,026,083	34,917	
	渉外費支出	16,000	16,269	△ 269	
	諸会費支出	69,000	68,290	710	
	雑支出	1,058,000	1,055,100	2,900	
	雑支出	1,058,000	1,055,100	2,900	
	事業活動支出計(2)	83,047,000	82,413,770	633,230	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	11,935,000	13,267,244	△ 1,332,244	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	固定資産取得支出	1,316,000	1,313,890	2,110	
	車両運搬具取得支出	131,000	130,290	710	
支出	器具及び備品取得支出	1,185,000	1,183,600	1,400	
	固定資産除却・廃棄支出	9,000	8,800	200	

収支	固定資産除却・廃棄支出	9,000	8,800	200
	施設整備等支出計(5)	1,325,000	1,322,690	2,310
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,325,000	△ 1,322,690	△ 2,310
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)			
	積立資産支出	956,000	954,000	2,000
	退職給付引当資産支出	956,000	954,000	2,000
	その他の活動支出計(8)	956,000	954,000	2,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 956,000	△ 954,000	△ 2,000
	予備費支出(10)		—	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	9,654,000	10,990,554	△ 1,336,554
	前期末支払資金残高(12)	25,799,225	25,799,225	0
	当期末支払資金残高(11)+(12)	35,453,225	36,789,779	△ 1,336,554

深谷保野地域ケアプラザ拠点区分 事業活動計算書
(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月 31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	介護保険事業収益	42,634,585	34,975,717	7,658,868
	居宅介護支援介護料収益	37,375,339	29,364,044	8,011,295
	居宅介護支援介護料収益	29,976,017	22,136,982	7,839,035
	介護予防支援介護料収益	7,399,322	7,227,062	172,260
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	4,368,346	4,811,468	△ 443,122
	事業費収益	4,368,346	4,811,468	△ 443,122
	その他の事業収益	890,900	800,205	90,695
	補助金事業収益(公費)	140,000	84,000	56,000
	市町村特別事業収益(公費)		8,000	△ 8,000
	受託事業収益(公費)	569,250	528,000	41,250
	拠点区分間受託収益	181,650	180,205	1,445
	地域包括支援センター収益	53,003,447	54,596,774	△ 1,593,327
	地域包括支援センター収益	52,903,897	54,497,224	△ 1,593,327
	地域包括支援センター収益	52,903,897	54,497,224	△ 1,593,327
	その他の事業収益	99,550	99,550	0
	受託事業収益(公費)	99,550	99,550	0
	経常経費寄附金収益	10,000	3,000	7,000
	寄附金収益	10,000	3,000	7,000
	サービス活動収益計(1)	95,648,032	89,575,491	6,072,541
サービス活動増減の部	人件費	61,790,325	58,673,305	3,117,020
	職員給料	33,382,414	31,895,434	1,486,980
	職員賞与	6,552,200	5,916,510	635,690
	賞与引当金繰入	3,600,000	3,274,000	326,000
	非常勤職員給与	8,413,325	8,340,939	72,386
	退職給付費用	2,391,344	2,171,134	220,210
	法定福利費	7,451,042	7,075,288	375,754
	事業費	2,081,984	2,056,124	25,860
	水道光熱費	1,246,689	1,165,103	81,586
	保険料	92,978	83,711	9,267
	賃借料	400,555	464,219	△ 63,664
	車両費	12,419	17,001	△ 4,582
	雑費	329,343	326,090	3,253
	事務費	19,821,461	19,756,361	65,100
	福利厚生費	231,083	217,175	13,908
	旅費交通費	59,210	63,100	△ 3,890
	研修研究費	98,340	128,420	△ 30,080
	事務消耗品費	421,382	489,612	△ 68,230
	印刷製本費	366,709	520,400	△ 153,691
	修繕費	592,546	462,187	130,359
	通信運搬費	982,144	967,564	14,580
	広報費	293,733	229,803	63,930
	業務委託費	11,172,650	11,424,080	△ 251,430
	業務委託費	8,428,790	8,680,825	△ 252,035
	事業区分間業務委託費	2,743,860	2,743,255	605
	手数料	286,428	292,527	△ 6,099
	土地・建物賃借料	484,800	484,800	0
	土地・建物賃借料	484,800	484,800	0
	租税公課	1,666,694	1,607,400	59,294
	保守料	2,026,083	2,082,467	△ 56,384
	渉外費	16,269	14,436	1,833
	諸会費	68,290	62,290	6,000
	雑費	1,055,100	710,100	345,000
	減価償却費	1,019,150	863,880	155,270
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 44,916	△ 77,000	32,084
	サービス活動費用計(2)	84,668,004	81,272,670	3,395,334
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	10,980,028	8,302,821	2,677,207
サービス活動外増減の部	受取利息配当金収益	14,702	204	14,498
	その他のサービス活動外収益	18,280	32,200	△ 13,920
	受入研修費収益	4,000	10,000	△ 6,000
	雑収益	14,280	22,200	△ 7,920
	その他雑収益	14,280	22,200	△ 7,920
	サービス活動外収益計(4)	32,982	32,404	578
費用				

部	サービス活動外費用計(5)			
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)			578
	経常増減差額(7)=(3)+(6)			2,677,785
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)			
	費用	固定資産売却損・処分損	8,801	8,801
		器具及び備品売却損・処分損	1	1
		固定資産除却・廃棄費用	8,800	8,800
	特別費用計(9)			8,801
	特別増減差額(10)=(8)-(9)			△ 8,801
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)				2,668,984
繰越前期繰越活動増減差額(12)				8,335,225
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)				11,004,209
活動増減差額の部	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)			
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)			11,004,209

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	42,331,467	35,291,214	7,040,253	流動負債	9,141,688	12,765,989	△ 3,624,301
現金預金	34,725,432	27,995,111	6,730,321	事業未払金	3,681,718	7,158,385	△ 3,476,667
事業未収金	7,350,805	6,854,116	496,689	職員預り金	0	485,254	△ 485,254
未収補助金	100,000	100,000	0	事業区分間借入金	1,859,970	289,150	1,570,820
前払費用	129,280	403,422	△ 274,142	未払消費税等	0	1,559,200	△ 1,559,200
拠点区分間貸付金	25,950	38,565	△ 12,615	賞与引当金	3,600,000	3,274,000	326,000
固定資産	15,103,248	13,854,509	1,248,739	固定負債	12,139,950	11,185,950	954,000
基本財産				退職給付引当金	12,139,950	11,185,950	954,000
その他の固定資産	15,103,248	13,854,509	1,248,739	負債の部合計	21,281,638	23,951,939	△ 2,670,301
車輜運搬具	76,004	1	76,003	純資産の部			
器具及び備品	2,379,484	1,872,538	506,946	基本金			
ソフトウェア	507,810	796,020	△ 288,210	国庫補助金等特別積立金	0	44,916	△ 44,916
退職給付引当資産	12,139,950	11,185,950	954,000	その他の積立金			
				次期繰越活動増減差額	36,153,077	25,148,868	11,004,209
				(うち当期活動増減差額)	11,004,209	8,335,225	2,668,984
				純資産の部合計	36,153,077	25,193,784	10,959,293
資産の部合計	57,434,715	49,145,723	8,288,992	負債及び純資産の部合計	57,434,715	49,145,723	8,288,992